

2015年4月30日

一般社団法人 日本建築学会関東支部  
支部長 長谷見 雄二 殿

東京都千代田区大手町一丁目6番1号  
三菱地所株式会社  
取締役社長 杉山 博孝



「みずほ銀行前本店ビルおよび銀行会館・東京銀行協会ビルの  
保存活用に関する要望書」について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より弊社事業につきましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、過日に頂戴しました標記要望書におきまして、(仮称)丸の内1-3計画として一体開発予定の「みずほ銀行前本店ビル」「銀行会館」「東京銀行協会ビル」の持つ高い文化的意義と歴史的価値を評価いただくとともに、保存活用に関する学術的観点からの相談をお受けいただける旨のお申し出を頂戴し、誠に有難うございます。

要望書に記載いただいております通り、みずほ銀行前本店ビルは、丸の内における建築家村野藤吾の1970年代の作品として、外観意匠・造形だけでなく、建築史や都市景観形成史の観点からも重要な建物であると認識しております。また、銀行会館・東京銀行協会ビルにつきましても、実際には殆どが新材料での新築再現ではあるものの、歴史的建造物の部分保存に取り組んだ初期の事例として、その経緯や技術・構法に関して高い歴史的意義を持つ建物であることは十分に理解しております。

今回の計画は、日本を代表するビジネスエリアである丸の内において、国際金融拠点機能の強化を目指し、既存建物3棟を一体的に建替え再開発するという複数地権者による共同事業となります。従いまして、それぞれの建物についてその全体を保存活用することは、施設利用計画の観点及び事業成立性の観点から極めて実現が難しい状況にありますが、出来る範囲での歴史的価値の継承については真摯に検討して参りたいと考えております。

既存建物の歴史的価値を継承する考え方や具体的な方法につきましては、今後、共同事業者一同にて鋭意検討させていただきます。その際には、歴史調査(資料調査・建物調査)において専門家等からの助言を得た上で最良の方策を導き出していく所存ですので、貴学会におかれましても、何卒、当方事情をご斟酌いただき、学術的な視点からのご指導、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬 具